

『特色ある地域～地場産業：台東区～』

	GT	見学	取材	教材研究のヒント
江戸たいとう伝統工芸館	○	○	○	江戸簾(すだれ)・東京桐たんす・江戸指物など、約 50 業種・250 点余りを常設展示している。台東区の伝統工芸の職人と関わりのある担当者が常時質問に答えてくれる。校外学習などを予約した団体を主な対象に、職人が実演をしている。(ホームページで確認必須)その他、不定期で実演をしている。
台東区役所 産業振興課伝統工芸担当	×	×	△	伝統工芸に関する HP やイベントの窓口。担当者が少ないため、日にちに余裕をもって相談する必要がある。メールでの取材対応可。
提灯の工房	×	×	△	「有限会社大嶋屋恩田」は、忙しく取材対応は難しいが、HP 掲載情報は使用可能。
江戸木版画の工房	×	×	△	不定休で連絡は電話のみの対応のため日にちに余裕をもって相談する必要がある。

*GT：ゲストティーチャー、見学：小学生の社会科見学、取材：教員の取材

*問い合わせ先は、記載しておりません。ご自身でインターネット等で検索してください。

『特色ある地域～国際交流：大田区』

	GT	見学	取材	教材研究のヒント
おおた国際交流センター (Mint おおた)			○	国際交流と多文化共生を一体的に進めていく施設。多言語相談窓口や国際交流・多文化共生推進活動ができる会議室、利用者同士が交流できるスペースがある。情報・交流コーナーには、さまざまな国の情報が掲示されていたり、さまざまな言語の本があったりする。セーラム市や大連市、北京市朝陽区の情報が大きく壁に掲示されている。また、外国人の方向けに、日本語学習・イベント情報や各種のお知らせ、暮らしの情報が多言語で置かれている。(くらしのガイドも)
大田区役所			△	国際都市・多文化共生推進課は、Mint おおたの中、国際都市おおた協会の隣にある。区役所の二階部分には、セーラム市との交流の様子やその他の交流都市との交流の記録が展示されている。くらしのガイドを作成している。ホームページや SNS で情報発信を行っている。
羽田空港		○		羽田空港第3ターミナル2階で、大田区の観光情報を発信している。はねぴよんの大きな顔のタペストリーが目印。
池上駅				池上駅(東急池上線)でも、大田区の観光情報を発信している。
国際都市おおた協会			△ (区役所が基本的な対応を行う)	Mint おおた内にある。一般財団法人国際都市おおた協会が正式名称。国際都市おおた宣言で表現された「観光」の魅力、「多文化共生」の大切さ、「産業」の力強さを伸張させるため、大田区における国際交流および国際協力の活動支援や国際人材の育成を、地域の力との連携・協働を通じて推進し、もって地域の活性化に寄与することを目的としている。多言語相談窓口や、国際交流ボランティア、日本語学習支援、子どもや保護者の支援などを行っている。副読本掲載時より、現在はより外国人移住者の生活に密着した取り組みを行っている。
ウェルカムスポット				かつてあったウェルカムショップとまちかど観光案内所を統合し、2023年から運用されている。プチモールフタバにはステッカーがあった。お店の人の話だと、外国人の方にも対応できるように、英語などの言語で対応している。お店のポップも、英語など日本語以外の言語のものを用意して、わかりやすくしているとのこと。2026年7月14日更新で大田区のホームページにウェルカムスポットについてのページがある。

*GT：ゲストティーチャー、見学：小学生の社会科見学、取材：教員の取材

*問い合わせ先は、記載しておりません。ご自身でインターネット等で検索してください。

『特色ある地域～自然：小笠原村～』

	GT	見学	取材	教材研究のヒント
小笠原村観光局	○	×	○	内地（港区）にあるので、取材に行くことも可能。「わたしたちの東京都」の作成でも協力いただいている。R6 年度までの担当の方が退職したが、今後も、ゲストティーチャーの対応はしてくださる。
小笠原海運	×	×	×	小笠原村に行く唯一の交通手段。船のダイヤなどを確認できる。
小笠原村観光協会				父島の情報を調べることができる。
小笠原世界遺産センター				世界自然遺産関連の情報を調べることができる。
小笠原ビジターセンター				歴史、海、動植物、クジラ・イルカなど様々な情報を調べることができる。
小笠原母島観光協会				母島の情報を調べることができる。

*GT：ゲストティーチャー、見学：小学生の社会科見学、取材：教員の取材

*問い合わせ先は、記載しておりません。ご自身でインターネット等で検索してください。

『都内の伝統や文化～武蔵府中くらやみ祭り他～』

	GT	見学	取材	教材研究のヒント
府中郷土の森博物館	○	○	○	府中市郷土の森博物館ホームページには、学校団体で見学をするときに使用できるワークシート、子供用解説シートがある。くらやみ祭りの出前授業も行っている。内容については、要相談（オンライン可）（無料）常設展示内で学校団体向けに解説をしてくれる。（要予約）（入館料がかかる）常設展示内で放映している映像の貸し出しも行っている。（貸し出しは予約制）（最大 10 日間の貸し出しが可）府中郷土の森博物館の YouTube チャンネルで教員向けの動画も公開している。
旧多摩聖蹟記念館		○		モダンデザインの影響を強く受けて昭和 5 年に建てられた近代建築。平成 14 年に「東京都の特に景観上重要な歴史的建造物等」に選定された。
高幡不動山明王院金剛寺（高幡不動尊）		○	○	新東京百景に選ばれている。本殿の不動明王像、土方歳三の銅像、碑文がある。ホームページには、年中行事の年表もある。
青木昆陽の墓、記念碑		○ （記念碑のみ）		目黒区にある国指定遺跡。享保の飢饉の後、「蕃薯考」を著し、薩摩から種芋を取り寄せ、各地に配り、栽培方法を教え、甘薯（かんしょ）が関東一円に広がるきっかけを作った。昆陽の遺徳を偲び、10 月 28 日に「甘薯まつり」が催されている。
尊敬閣文庫	△ （要相談）	○ （外観のみ）	△ （教員のみ、相談）	区立駒場公園に隣接して、公益財団法人前田育徳会が管理・運営している。旧加賀藩主前田家が所蔵していた古典籍や古文書などを所蔵し、研究者に公開している施設。前田家本邸が文京区本郷から、目黒区駒場に移転した際、尊敬閣文庫の建物も昭和 3 年（1928 年）に本邸敷地内に建てられた。文庫の名称は、5 代目藩主前田綱紀が収集した「尊敬閣蔵書」に由来。外観は昭和初期の優美な雰囲気を持ち、区立駒場公園の旧前田家本邸（国重要指定文化財）の洋館や和館と共に、建築当時の姿を今日に伝えている。
荻外荘 （てきがいそう）		○	○ （見学とともに）	荻外荘は、大正天皇の侍医頭（じいのかみ）を務めた入澤達吉が昭和 2 年に荻窪に建てた別邸。その後、内閣総理大臣の近衛文麿が昭和 12 年から住み始めた。心身の療養のために、近衛は暮らしていたが、次第に国家の重要な会談の場として使用するようになった。平成 28 年には、日本の針路を左右するような会談が数多く行われた場所として国の史跡に指定された。区内にある小学校が教育課程として行う教育活動で観覧する場合は入館無料（ホームページで事前予約が必要）団体での観覧の際、館内ガイドを希望する場合は、1 ヶ月前までに、見学のみの場合は 1 週間前までに相談。見学は 1 度に 50 人まで。50 人以上は入れ替えをして見学可。

*GT：ゲストティーチャー、見学：小学生の社会科見学、取材：教員の取材

*問い合わせ先は、記載しておりません。ご自身でインターネット等で検索してください。

『東京都の発展に尽くした先人の働き』

	GT	見学	取材	教材研究のヒント
羽村郷土資料館	△ 学芸員が羽村市内の小学校は対応可	○	○	郷土学習の一環として、小学校 4 年生の学習指導要領および東京都の社会の副読本に応じた、玉川上水の説明を行っています。開削に至る背景やその役割、現在はどのようになっているかなど、展示資料を用いつつ、専門の説明員が詳しくお話しします。（HP より）HP で紹介されている本は一般書店で購入可能。
東京都水道歴史館	△ 文京区の小学校は対応可	○	○ 質問がある場合は要事前連絡	アテンダントによる展示案内と映像視聴のツアー（1 時間 40 分程度）4 年生向けで、1 グループ 40 名程度で 2 グループまで同時見学可
新宿区立新宿歴史博物館	△ 内容によっては対応可	○	○ 要事前申請	玉川上水を復元した石碑と発掘された木樋が展示されている。街並みの模型に玉川上水が見られる。（YouTube で視聴可能・子供用大人用有）
玉川上水緑道				杉並区の浅間橋から福生市の平和橋までの約 24 km。HP より公園マップをダウンロード可能。
四谷大木戸		○		記念碑と四谷大木戸跡碑を見ることができる。四谷四丁目の交差点に石灯籠と四谷大木戸の表示あり。（多摩川を愛でる会 HP より）
まいまいず井戸		○		羽村市駅前。水が出にくい地域で掘られた井戸。玉川上水と直接の関係はないと思われるが、羽村郷土資料館に行く際に、立ち寄ることが多い。
水喰土公園		○		福生市。水が全部すいこまれた（食われた）という伝説がある土地。（『玉川上水 親と子の歴史散歩』より）

*GT：ゲストティーチャー、見学：小学生の社会科見学、取材：教員の取材

*問い合わせ先は、記載しておりません。ご自身でインターネット等で検索してください。

書名	著者、発行元、編集等	発行年	対象者	内容について
『玉川上水 その歴史と役割』	羽村市教育員 会 羽村市郷 土博物館	平成 5 年改訂新 版発行	児 童	イラストや写真が多く、漢字にはルビがふってあるので、四年生でも十分に読める内容。
『玉川上水と 分水』	小坂克信著 新人物往来社	1995 年 初版発行	児 童	元小学校教諭の小坂先生が書かれた本。「おわりに」も書かれているが、教材として使えるようにと考えて作られているので、章立てが時代順になっており、分かりやすい。ルビ有。
『わたしたち の羽村市』	羽村市教育委 員会	平成 26 年第二版 発行	児 童	羽村市の図書館から取り寄せて、借りることが可能。数ページだが、玉川兄弟や玉川上水について触れている部分ページがある。
『玉川上水 親と子の歴史 散策』	伊東好一監修 肥留間博著 たましん地域 文化財団出版	1991 年 初版発行	教 員	歴史的なことだけでなく、上水の仕組みや玉川上水を歩いて見たものも書かれている。自分の学校のそばに玉川上水と関係のあるものがあるか、簡単に調べられそう。江戸市内の水の流れについても詳しく紹介されていて、分かりやすい。
『玉川上水散 歩マップ』	羽村市教育委 員会	平成 14 年改訂版 発行	教 員	玉川上水羽村取水堰から開渠部分の終点浅間橋までの様子を、地図と写真で紹介。A5 サイズで 50 頁足らずの小さな本だが、玉川上水を実際に歩いてみる際には、参考となる情報がたくさん載っており、持ち歩きも便利。
『玉川上水を あるく』	武蔵野市教育 委員会	平成 17 年改訂第 六版	教 員	B6 サイズの 51 頁の本。写真は白黒だが、見開き 1 頁に 2 枚程度掲載されている。通史の章に玉川兄弟のことが少し説明されている。
『玉川上水武 蔵野ふしぎ散 歩』	福田恵一文 農山漁村文化 協会	2011 年 発行	教 員	著者は元中学校の社会科の教諭。著者が実際にあるいて感じたことや調べたことが書いてある。玉川上水のこと以外にも、その土地の様子などの説明が書かれている。
『東京の川を 歩く』	飯野頼治著 さきたま出版 会発行	2015 年	教 員	著者は元埼玉県の高教諭。第 1 部の六 玉川上水と用水 七 玉川上水の分水 にて、玉川上水にて触れている。羽村駅から玉川水神社や水喰土公園を通り拝島駅までなど、歩いたルートや距離や時間が書いてあり、参考になる。また、「三度目の正直・玉川上水」にて、玉川兄弟について触れている。
パンフレット 「玉川上水」 「玉川上水 2」	東京都水道歴 史館		教 員	玉川上水の歴史と現況の地図を掲載。 旧江戸市中散策絵図が掲載されており、四谷大木戸から水がどのように流されたのかが分かる。